

## News & Information

2024/5/30

〔第18回日本分子イメージング学会総会・学術集会での発表のお知らせ〕

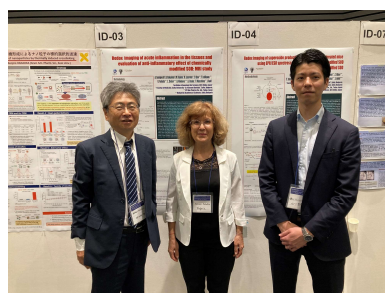
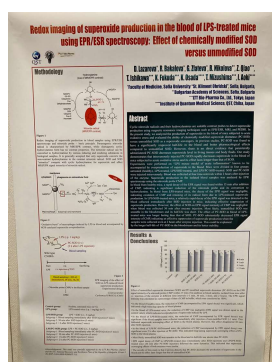
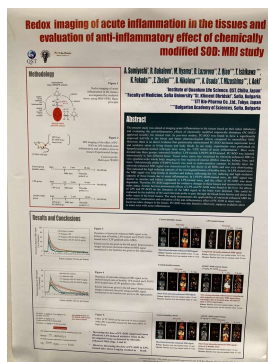
かねてより国立研究開発法人量子科学技術研究開発機構と当社開発製剤である PC-SOD (LT-1001) に関する共同研究を行ってきましたが、2024年5月23日～24日に開催された第18回日本分子イメージング学会総会・学術集会において、その成果を発表いたしましたのでお知らせいたします。量子科学技術研究開発機構とは、PC-SOD (レシチン化 SOD、LT-1001) が生体内で活性酸素を消去していることを証明する目的で共同研究を実施して参りました (2022年8月31日 IR)。本共同研究においてマウス体内において炎症反応の際に放出される活性酸素を PC-SOD が消去すること、またその効果がレシチン化していない SOD より長く続くことを明らかにし、以下のタイトルで発表を行いました。

『Redox imaging of acute inflammation in the tissues and evaluation of anti-inflammatory effect of superoxide dismutase: MRI study』

『Redox imaging of superoxide production in the blood of LPS-treated mice using EPR/ESR spectroscopy: Effect of chemically modified PC-SOD versus unmodified SOD』

培養細胞を用いた実験において、PC-SOD が活性酸素を消去することはこれまでも報告してきましたが、今回の共同研究により PC-SOD が生体内においても活性酸素を消去すること、またその効果が長く続くことを示すことが出来ました。この成果をもとにさらに PC-SOD に関する研究を進めて参りたいと思います。

本共同研究に関しましてさらに進捗がありましたら、またご報告致します。



以上